

岡山市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

(岡山市勤労者福祉センター)

令和2年7月

令和5年11月改訂

岡山市 産業観光局 商工部

創業支援・雇用推進課

目次

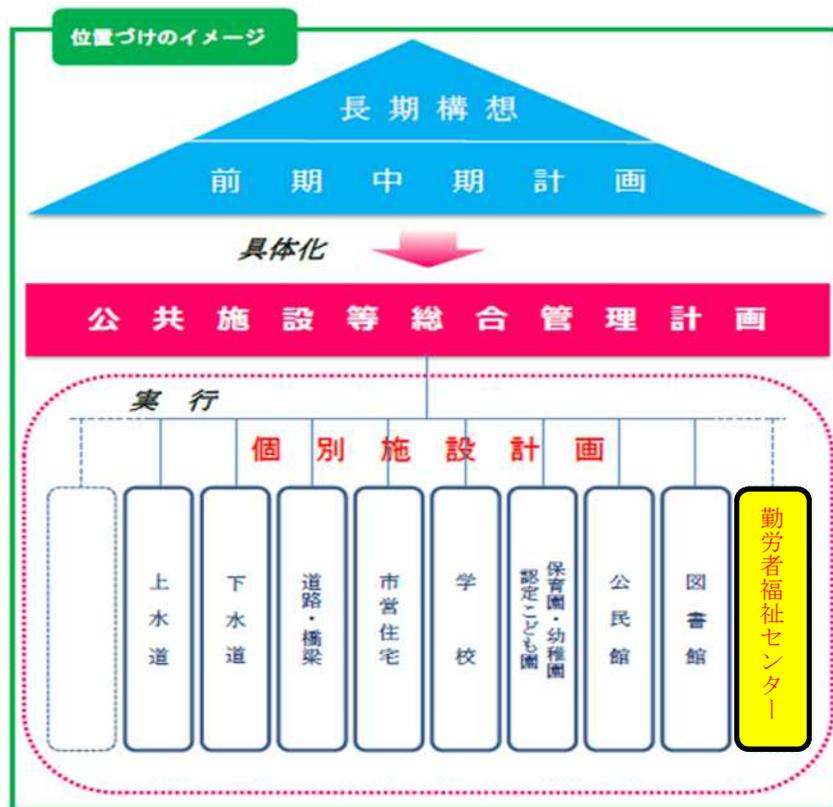
1	個別施設計画の位置づけ及び計画期間	1
2	施設の概要	2
3	設備の概要	3
4	施設の沿革	3
5	施設の利用状況	4
6	施設の整備計画及び対策費用	4

1 個別施設計画の位置づけ及び計画期間

(1) 個別施設計画の位置づけ

岡山市公共施設等総合管理計画個別施設計画（以下「個別施設計画」という。）は「岡山市公共施設等マネジメントに関する基本計画」に基づき策定された岡山市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）を踏まえ、個別の施設単位あるいは施設類型単位で、建替等更新や廃止等の今後の方針を示す計画です。

岡山市公共施設等総合管理計画個別施設計画（岡山市勤労者福祉センター）（以下「本計画」という。）は個別施設計画のひとつであり、現状及び将来の見通しを踏まえ、岡山市勤労者福祉センター（以下「当施設」という。）のマネジメントに関する今後の方針を定めるものです。



(2) 計画期間

本計画の計画期間は、平成28年度を始期とした10年間の計画(平成28年度～令和7年度)であることから、本計画の計画期間については、令和2年度から令和7年度までの6年間とします。なお、状況の変化があった場合には、適宜見直しを行います。

	平成28年度～	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合管理計画	→						
本計画		→					

2 施設の概要

当施設の概要は次のとおりです。

所在地	岡山市北区春日町5番6号
種別	市民文化系施設
棟数	1棟
総延床面積	4,056㎡
建築年	昭和51年
構造	鉄筋コンクリート造地下1階地上5階塔屋1階
耐震基準	旧耐震*
設置条例	岡山市勤労者福祉センター条例 (昭和51年岡山市条例第53号)
役割・目的	勤労者の福祉増進，教養文化の向上及び余暇利用の充実を図る。
機能	勤労者を対象とした会議室・体育集会室の貸出を行い，会議・研修・集会等の場を提供しています。
主な用途 ()は部屋数を表す	小会議室(3)，中会議室(3)，大会議室(1)，体育集会室(1)
管理運営形態	指定管理者による管理運営
備考	35台の普通車が駐車できる時間貸し駐車場を隣接地に設置しています。

* 平成28年度に実施した耐震補強工事により，現在は新耐震基準の強度を満たしています。

3 設備の概要

機械設備	<ul style="list-style-type: none">■ 空調設備■ 電気制御機器■ 給排水衛生設備■ 昇降機
電気設備	<ul style="list-style-type: none">■ 受変電設備■ 非常用自家発電設備■ 自動防火警報設備■ 防排煙設備■ 照明設備
消火設備	<ul style="list-style-type: none">■ ハロン消火栓設備■ 屋内消火栓設備

4 施設の沿革

かつて岡山県中央労働会館（木造）が岡山市番町にありましたが、老朽化により使用に堪えられなくなり、その改築が強く望まれていました。また、労働組合からも岡山市内への労働会館建設の要望が強まっていました。そこで、労働組合運動の健全な発展と各種文化活動の育成を図るとともに、広く勤労者の福祉の増進に寄与するという目的で、昭和 37 年に現在の当施設の駐車場の位置へ、労働会館が建設されました。

一方で勤労者自らの福利厚生活動が活発化し、従来の「集会の場」としての施設のみならず、「教養、研修、娯楽、休養の場」としての施設設置の必要性に迫られていました。そこで、勤労者の福祉の増進、教養文化の向上及び余暇利用の充実を図るため、昭和 49 年度から昭和 51 年度までの 3 か年継続事業として当施設を建設しました。その後、労働会館は昭和 52 年 7 月 1 日に県から市へ無償移管され、岡山市が当施設と一体的、総合的な運営を行ってきました。

しかし、労働会館の老朽化が著しくなったため、平成 16 年度に解体撤去し、その跡地に当施設の時間貸し駐車場を整備しました。

また当施設は平成 25 年耐震診断の結果、耐久性能が基準以下であることが判明したため、平成 28 年度に耐震補強工事を実施しました。

なお、平成 18 年 4 月から指定管理者制度を導入しています。

5 施設の利用状況

下表は、当施設の年度別利用状況です。新型コロナウイルス感染症の影響により令和2，3年度は利用者数が3万人台に減少しておりますが、令和4年度にはコロナ禍前と同水準の5万人台に回復しています。

なお、当施設は平成28年から洪水・土砂災害時等の避難場所として指定されています。

岡山市勤労者福祉センター利用状況

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	貸出件数(件)	利用者数(人)								
体育集会室	353	24,655	346	24,484	238	12,478	252	11,919	452	19,592
第3会議室	219	3,514	228	3,243	160	2,608	295	4,505	398	7,063
大会議室	272	10,266	304	12,530	267	7,033	323	7,590	433	12,035
第1会議室	230	4,420	248	4,591	207	3,685	264	3,362	361	5,162
第2会議室	237	4,758	236	4,553	175	2,720	226	2,728	127	2,137
小会議室A	370	2,314	320	1,959	131	669	129	589	141	742
小会議室B	394	2,833	277	2,995	215	2,419	221	1,517	339	2,285
小会議室C			113	790	134	674	145	888	286	1,547
合計	2,075	52,760	2,072	55,145	1,527	32,286	1,855	33,098	2,537	50,563
駐車場(台)	22,769		21,916		18,256		19,322		22,173	

※駐車場は台数

6 施設の整備計画及び対策費用

(1) 施設の整備計画

当施設については、設備の計画的な更新を行うことで施設の長寿命化を図ることを目的に、令和2年度に整備計画を策定。令和5年度の照明設備工事をもって、整備計画の工事を完了する予定です。

整備計画による主な設備の更新は完了しますが、施設の老朽化は進んでおり、各設備において、日常的な点検の徹底や定期的に性能を把握することを通じて、安定的な維持管理に努めます。

○勤労者福祉センター整備計画

西暦（年度）		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
竣工後年数（年目）		44	45	46	47	48	49
機械設備	空調設備 2020年製：耐用年数15年	改修工事施工					
	電気制御機器 2014年製：耐用年数30年						
	給排水衛生設備 2004年製～2014年製：耐用年数40年						
	昇降機 2010年製：耐用年数40年						
電気設備	受変電設備 2021年製：耐用年数40年		改修工事設計				
	非常用自家発電設備 2012年製：耐用年数20～30年						
	自動防火警報設備 2022年製：耐用年数30年			改修工事施工			
	防排煙設備(防火ドア制御器等) 2022年製：耐用年数30年			改修工事施工			
	照明設備 2020-2023年製：耐用年数30年	故障箇所 修繕工事施工	体育集会室 LED化工事施工		LED化工事施工		
消火設備	ハロン消火栓設備 2021年製：耐用年数30年		改修工事施工				
	屋内消火栓設備(消火ポンプ) 2021年製：耐用年数30年		改修工事施工				

(2) 対策費用

対策費用の概算は設計工程の中で積算していくこととなりますが、実施財源としては、公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業等）など有利な財源を優先し、検討することとします。

施設修繕については、現在の施設規模のまま維持し続ける場合の計画的（時間計画）保全を想定した「単純更新パターン」と、長寿命化を行う場合を想定した「長寿命化パターン」を一定の試算条件のもとに試算し、それぞれの概算事業費の合計を比較した際を効果額として示します。

【概算事業費と効果額の試算結果（単位：万円）】

施設	経費（R5～R7）				効果額	
	単純更新	／年	長寿命化	／年	／年	／年
岡山市勤労者福祉センター	8,531	2,844	8,531	2,844	0	0